

足尾帯に露出するタイガーロック

<吉田史郎¹⁾>



写真1 表紙の写真は足尾山地を流れる河川に露出する天然石です。足尾山地は足尾帯、すなわち中生代の付加体からなり、砂岩、泥岩、チャート、玄武岩質の火山岩及び火砕岩、石灰岩などが露出しています。この天然石は橙色のチャートと灰色の泥岩の互層から構成されていますが、川面から突き出した辺りのチャートの色味は、特に色鮮やかになっています。

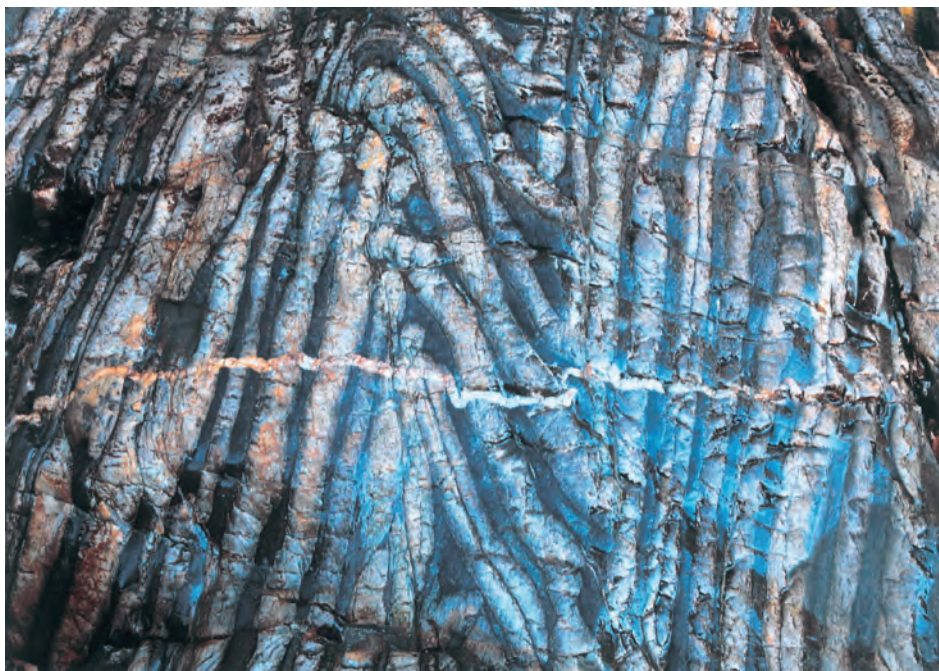


写真2 このチャート泥岩互層は写真1の露岩から続いています。橙色ではありません。写真を何枚か地質相談所の酒井 彰所長に見てもらいましたが、「橙色は酸化鉄の浸み込みによるのではないか。また受ける印象では岩石全体が熱変成を受けているようだ」とのことでした。確かにこの露頭の近くには白亜紀末-古第三紀の花崗岩が貫入しています。



写真3, 4 足尾山地のあちこちで、同じような色調をしたチャート泥岩互層はないかと探してみたのですが、発見できませんでした。やはりめったに見られないものではないかと思いましたので、地質ニュースで紹介することになりました。この露頭では、トラの毛皮のような縞模様以外にも、背斜、向斜、スランプなどの褶曲構造(写真2, 3, 4)がみられ、また小断層もきれいに発達しています。

表紙の天然石は自然が生み出した芸術品であり、自然が私たちに残してくれた財産です。見かけた人も観察にとどめ、くれぐれもハンマーなどで叩いて傷をつけないようにしましょう。ちなみに「タイガーロック」とは、トラ皮様模様にちなんで私が命名したニックネームです。